



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月16日

上場取引所 東

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

コード番号 7949 URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理本部長

(氏名) 鈴木 裕文

TEL 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,830	1.6	1,302	26.1	1,404	23.9	824	23.9
25年3月期第2四半期	12,634	16.0	1,033	—	1,133	—	665	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	81.70	—
25年3月期第2四半期	65.91	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,364	—	25,691	—	—	84.6
25年3月期	31,242	—	25,105	—	—	80.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 25,691百万円 25年3月期 25,105百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	31,500	11.9	3,900	21.6	4,000	20.4	2,300	14.6	227.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	10,903,240 株	25年3月期	10,903,240 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	805,590 株	25年3月期	805,510 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	10,097,669 株	25年3月期2Q	10,097,827 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府が打ち出した経済政策および日銀の金融緩和により、その効果も徐々に現れ、明るい兆しが見えてきました。

このような状況にあつて当社は、ものづくりの原点である品質第一を最重要テーマに掲げ、最新設備を導入して生産体制の整備を推進してまいりました。

また、個別工事案件ごとに適正な利益率の確保を念頭に置き、全国大口顧客への拡販の強化とともに、地域の顧客に密着した受注活動を行ってきました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は、上場以来過去最高の128億30百万円となり、前年同四半期と比較して1.6%の増加となりました。品目別では、主要品目の固定間仕切、移動間仕切、用途別では、事務所・オフィス、学校・体育施設を中心に好調に推移しております。

利益面につきましては、生産部門において、昨年から実施してきた設備投資をさらに加速させ、品質向上に加えて、一層のスピードアップと生産性の向上を図ったこと、また、設計部門において、作図の自動化、標準化による設計システムの整備を推進して業務効率を改善できたことなどにより、売上総利益率が前年同四半期比2.9ポイント向上し、営業利益は13億2百万円(前年同四半期比26.1%増)、経常利益は14億4百万円(前年同四半期比23.9%増)、四半期純利益は8億24百万円(前年同四半期比23.9%増)の増収増益となりました。

## 品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

期 別 品 目	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)					
	売 上 高		受 注 高		受 注 残 高	
	金 額	前年同 四半期比 (%)	金 額	前年同 四半期比 (%)	金 額	前年同 四半期比 (%)
可 動 間 仕 切	3,911	96.0	4,278	96.8	2,056	98.4
固 定 間 仕 切	4,068	111.0	5,366	121.6	4,982	123.2
ト イ レ ブ ー ス	2,261	99.7	3,056	104.3	2,122	111.1
移 動 間 仕 切	1,865	105.7	2,315	89.4	1,852	91.9
ロ ー 間 仕 切	298	99.9	292	92.1	67	86.0
そ の 他	424	75.6	389	72.9	118	72.6
合 計	12,830	101.6	15,699	103.2	11,200	108.7

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は303億64百万円となり、前事業年度末と比較して8億77百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は207億48百万円となり、前事業年度末と比較して5億92百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金17億47百万円等の増加と、受取手形及び売掛金24億45百万円等の減少によるものであります。固定資産は96億16百万円となり、前事業年度末と比較して2億84百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産1億29百万円の増加と、投資その他の資産の保険積立金4億27百万円等の減少によるものであります。

負債の部では、流動負債は32億99百万円となり、前事業年度末と比較して14億67百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等7億54百万円、買掛金2億45百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金2億27百万円等の減少等によるものであります。固定負債は13億74百万円となり、前事業年度末と比較して4百万円の増加となりました。

純資産の部では、256億91百万円となり、前事業年度末と比較して5億85百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加等によるものであります。以上の結果、自己資本比率は84.6%となりました。

当第2四半期累計期間の末日における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、71億81百万円(前年同四半期累計期間末は49億13百万円)となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、20億40百万円(前年同四半期は16億38百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少額24億12百万円、税引前四半期純利益13億73百万円等の増加と、法人税等の支払額12億26百万円、仕入債務の減少額2億45百万円等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は、59百万円(前年同四半期は3億7百万円の使用)となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入6億26百万円、定期預金の払戻と預入に伴う純収入1億円等と、有形固定資産の取得による支出4億99百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億52百万円(前年同四半期は1億51百万円の使用)となりました。これは配当金の支払額等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年7月18日に公表いたしました数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,833	11,581
受取手形及び売掛金	10,316	7,870
電子記録債権	225	253
有価証券	0	—
製品	82	94
仕掛品	134	227
原材料及び貯蔵品	232	250
その他	587	527
貸倒引当金	△72	△56
流動資産合計	21,340	20,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,449	5,384
機械装置及び運搬具	3,820	3,937
土地	3,670	3,670
その他	824	943
減価償却累計額	△6,861	△6,902
有形固定資産合計	6,904	7,033
無形固定資産		
投資その他の資産	319	296
保険積立金	1,692	1,264
その他	1,031	1,073
貸倒引当金	△46	△51
投資その他の資産合計	2,677	2,286
固定資産合計	9,901	9,616
資産合計	31,242	30,364
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,378	1,132
未払法人税等	1,258	503
賞与引当金	879	820
その他	1,250	842
流動負債合計	4,766	3,299
固定負債		
退職給付引当金	1,134	1,159
役員退職慰労引当金	211	193
その他	23	21
固定負債合計	1,369	1,374
負債合計	6,136	4,673

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,031	3,031
利益剰余金	19,783	20,356
自己株式	△842	△842
株主資本合計	25,073	25,645
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32	45
評価・換算差額等合計	32	45
純資産合計	25,105	25,691
負債純資産合計	31,242	30,364

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,634	12,830
売上原価	8,357	8,120
売上総利益	4,276	4,710
販売費及び一般管理費	3,243	3,407
営業利益	1,033	1,302
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	3	4
受取保険金	85	87
受取家賃	13	13
その他	3	3
営業外収益合計	110	112
営業外費用		
売上割引	9	11
営業外費用合計	9	11
経常利益	1,133	1,404
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	2
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除売却損	6	33
特別損失合計	6	33
税引前四半期純利益	1,127	1,373
法人税、住民税及び事業税	545	479
法人税等調整額	△83	68
法人税等合計	461	548
四半期純利益	665	824



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,127	1,373
減価償却費	299	291
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△11
受取利息及び受取配当金	△7	△8
売上債権の増減額(△は増加)	1,115	2,412
たな卸資産の増減額(△は増加)	△51	△122
仕入債務の増減額(△は減少)	△330	△245
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15	24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△18
その他	△36	△437
小計	2,092	3,260
利息及び配当金の受取額	6	6
法人税等の支払額	△459	△1,226
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,638</b>	<b>2,040</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,100
定期預金の払戻による収入	2,500	3,200
有形固定資産の取得による支出	△204	△499
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△34	△44
投資有価証券の取得による支出	—	△9
投資有価証券の売却による収入	0	5
保険積立金の払戻による収入	427	626
その他	2	△119
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△307</b>	<b>59</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△151	△252
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△151</b>	<b>△252</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,180	1,847
現金及び現金同等物の期首残高	3,732	5,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,913	7,181

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。